

概要報告

実施期日	7月29日(火)【午前】
部会名	小学校 外国語活動部会

テーマ 『児童とともに楽しむ外国語活動の授業づくり』

提案概要

英語のスキルを教えるのではなく、コミュニケーション活動の体験を通して「外国語に慣れ親しむ」こと、「言語や文化に関して気づく」こと、そして児童の他者理解や自尊感情を高めることを目指した。

授業づくりに向けて、子どもの興味・関心につながる題材・指導方法を考慮しつつ、指導の効果を高めることをねらいとし、他教科で児童が学習したことを活用した。そこで、今回は4年生で学習した際、興味・関心の高かった地図や地図記号を扱った。また、授業で使用する教師の言語を、口述として準備し、基本的にすべて英語で行った。

また、授業中の英語活用場面をできる限り増やし、『英語で』学習することを意識した。

今後の課題として、様々なことに対する児童の気づきを大切にすること、また子どもたち自身が自然と英語を発するような仕掛けをいかに作れるかということが重要なポイントであると感じた。また、中学校の3年間も含めた5年間の学習をイメージして、授業づくりをしていくことも重要であると考えている。

質疑概要

- ・ALTの授業と担任の授業はどう分けていますか？
- ・年間計画は、どう考えていますか？
- ・コミュニケーション能力の素地、態度育成とはどのようなことか？
- ・どのように授業づくりしていますか？
- ・小中連携について、どう考えていますか？

研究協議概要

「児童が興味・関心を抱き、コミュニケーション能力の活発化を図るための題材や教材の工夫について」

- ・行事とからめた題材（5年八ヶ岳・6年鎌倉めぐり、修学旅行などの準備・出来事・まとめなど）
- ・季節のイベントに合わせた題材（ハロウィン、クリスマスカード作り、お正月に英語で福笑いなど）
- ・習ったもの・他教科との関連（地図帳・図形など）
- ・子どもたちの興味・関心から広げるもの（キャラクターあて、絵かき歌、ドラえものの英語版など）
- ・時代にあった柔軟な教材作り（ワールドカップ、オリンピックなど）
- ・ポップコーン作りを活用した外国語活動
- ・神奈川県立国際言語文化アカデミアの利用によるスキルアップ

まとめ概要

・語彙力がない、感情をコントロールできない、人の感情を受け止めることも苦手な現代の子どもたちにとって、相手の思いを受け止めようとしたり、自分の思いを伝えようとしたりする活動はとりわけ大切になってきている。そのためには、まず子どもたちが伝え合おうとする意欲を引き出す、また英語を発する必然性のある場をしっかりと設定してあげることが重要である。

・子どもたちの意欲を高めるような場を設定するためには、まずなによりも児童のことをよく理解していることが大切である。また教師自身が失敗を恐れず、外国語を活用し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を見せることによって子どもたちの心は動く。豊かな児童理解に基づいた関わり、様々な教育資源の積極的な活用、教室における活動の習慣化、相手を思いやる気持ちを育むこと等がコミュニケーション能力の素地を養うことにつながる。将来の国際社会への参加に向けた教室における擬似体験が重要である。